

2026年12月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2026年5月8日

上場会社名 日本セラミック株式会社

上場取引所 東

コード番号 6929 URL <https://www.nicera.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 谷口 真一

問合せ先責任者 (役職名) 経理部担当執行役員 (氏名) 本城 圭

TEL 0857-53-3838

配当支払開始予定日

決算補足説明資料作成の有無 : 無

決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2026年12月期第1四半期の連結業績(2026年1月1日~2026年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年12月期第1四半期	6,566	1.1	1,597	5.7	1,838	25.3	1,325	22.7
2025年12月期第1四半期	6,639	16.9	1,510	54.4	1,466	18.5	1,079	24.5

(注) 包括利益 2026年12月期第1四半期 1,730百万円 (852.4%) 2025年12月期第1四半期 181百万円 (90.3%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年12月期第1四半期	63.09	
2025年12月期第1四半期	49.31	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年12月期第1四半期	51,532	46,492	85.4
2025年12月期	56,359	50,037	84.4

(参考) 自己資本 2026年12月期第1四半期 43,991百万円 2025年12月期 47,594百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2025年12月期	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年12月期		0.00		165.00	165.00
2026年12月期(予想)		0.00		165.00	165.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年12月期の連結業績予想(2026年1月1日~2026年12月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	13,750	0.5	3,170	0.6	3,200	2.5	2,250	46.3	107.13
通期	28,000	2.5	6,500	4.4	6,700	4.9	4,700	32.9	223.78

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2026年12月期1Q	27,231,257 株	2025年12月期	27,231,257 株
期末自己株式数	2026年12月期1Q	6,526,595 株	2025年12月期	6,038,295 株
期中平均株式数 (四半期累計)	2026年12月期1Q	21,002,537 株	2025年12月期1Q	21,897,069 株

添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	5
四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等の注記)	8
(収益認識に関する注記)	8
(重要な後発事象)	8

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期の経営成績の概況

当第1四半期連結累計期間における世界経済は、米国においてはAI関連投資の拡大が景気を下支えしたものの、中東紛争の影響によりインフレ再燃が懸念されるなど、先行きが不透明な状況が続いております。欧州は、堅調な内需を中心に回復基調にありましたが、中東情勢の悪化に伴うエネルギー価格の高騰などが景気の下押し圧力となりました。中国では、ハイテク製品の生産や輸出が好調に推移した一方、不動産市場の停滞や個人消費の伸び悩みが見られました。

わが国経済は、所得環境の改善や、企業による旺盛な設備投資などにより、景気は持ち直しの動きが見られました。中東紛争の長期化など、外部環境の下振れリスクには引き続き注意する必要があります。

このような経営環境の中、当社グループにおきましては、ADAS向け車載安全製品やセキュリティ向け製品の販売が堅調に推移したものの、資本効率を重視し製品群を一部見直したことなどから、当第1四半期連結累計期間の売上高は6,566百万円（前年同期比1.1%減少）となりました。利益面では、継続的なコスト削減に加え、事業及び案件の選択と集中を進めたことなどにより営業利益は1,597百万円（前年同期比5.7%増加）、経常利益は為替差益の計上などにより1,838百万円（前年同期比25.3%増加）、親会社株主に帰属する四半期純利益が1,325百万円（前年同期比22.7%増加）となりました。

(2) 当四半期の財政状態の概況

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は、前連結会計年度末に比べ5,121百万円減少し38,154百万円となりました。その主な要因は、自己株式の取得や当社による配当金の支払いなどにより現金及び預金が3,952百万円減少したことなどによります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べ295百万円増加し13,378百万円となりました。

負債合計は、前連結会計年度末に比べ1,281百万円減少し5,040百万円となりました。その主な要因は、電子記録債務が608百万円減少したことと、法人税等の支払いにより未払法人税等が1,234百万円減少したことなどによります。

純資産合計は、前連結会計年度末に比べ3,545百万円減少し46,492百万円となりました。その主な要因は、利益剰余金が配当金の支払いなどにより2,171百万円減少したこと、自己株式の取得により自己株式が1,775百万円増加したことなどによります。

当第1四半期連結累計期間の連結キャッシュ・フローの状況は以下のとおりであります。

営業活動によるキャッシュ・フローにつきましては、税金等調整前四半期純利益1,839百万円や売上債権の減少1,282百万円などのキャッシュ増加要因がありましたが、仕入債務の減少による599百万円や法人税等の支払額1,600百万円などのキャッシュ減少要因により1,198百万円の収入（前年同期は705百万円の収入）となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローにつきましては、定期預金の預入による純額1,282百万円の支出、有形固定資産の取得による198百万円の支出などにより1,480百万円の支出（前年同期は428百万円の支出）となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローにつきましては、当社による配当金の支払いによる3,467百万円の支出、自己株式の取得による1,775百万円の支出などにより5,246百万円の支出（前年同期は4,233百万円の支出）となりました。

以上の項目に換算差額を調整した結果、当第1四半期連結会計期間末の現金及び現金同等物の残高は5,423百万円減少し14,675百万円（前年同期は20,156百万円）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2026年2月6日付けで公表いたしました業績予想に変更はありません。

なお、実際の業績は今後の様々な要因によって大きく差異が発生する可能性があります。今後、業績予想と重要な差異が生じるなど、業績予想に関して修正の必要が生じた場合には、速やかに開示する予定であります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	29,938	25,985
受取手形及び売掛金	3,933	3,766
電子記録債権	3,951	2,848
棚卸資産	5,104	5,077
その他	349	476
貸倒引当金	△0	△0
流動資産合計	43,276	38,154
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	3,306	5,254
機械装置及び運搬具（純額）	2,482	2,359
土地	2,654	2,654
建設仮勘定	1,958	55
その他（純額）	183	232
有形固定資産合計	10,584	10,555
無形固定資産		
土地使用権	243	244
その他	54	49
無形固定資産合計	297	293
投資その他の資産		
投資有価証券	2,095	2,432
繰延税金資産	34	31
その他	194	191
貸倒引当金	△123	△126
投資その他の資産合計	2,200	2,529
固定資産合計	13,083	13,378
資産合計	56,359	51,532

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,604	1,631
設備関係支払手形	12	30
電子記録債務	986	377
未払金	296	388
未払法人税等	1,751	516
賞与引当金	21	98
役員賞与引当金	41	9
その他	332	532
流動負債合計	5,045	3,587
固定負債		
退職給付に係る負債	398	391
繰延税金負債	821	1,006
その他	55	55
固定負債合計	1,276	1,453
負債合計	6,321	5,040
純資産の部		
株主資本		
資本金	10,994	10,994
資本剰余金	13,319	13,319
利益剰余金	36,769	34,598
自己株式	△15,613	△17,388
株主資本合計	45,470	41,524
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	794	1,026
為替換算調整勘定	1,196	1,312
退職給付に係る調整累計額	131	127
その他の包括利益累計額合計	2,123	2,467
非支配株主持分	2,443	2,501
純資産合計	50,037	46,492
負債純資産合計	56,359	51,532

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年1月1日 至 2026年3月31日)
売上高	6,639	6,566
売上原価	4,575	4,384
売上総利益	2,064	2,181
販売費及び一般管理費	553	584
営業利益	1,510	1,597
営業外収益		
受取利息	74	87
為替差益	-	131
受取地代家賃	34	31
その他	5	5
営業外収益合計	114	255
営業外費用		
為替差損	138	-
賃貸収入原価	19	14
その他	0	0
営業外費用合計	158	14
経常利益	1,466	1,838
特別利益		
固定資産売却益	4	1
受取補償金	64	-
特別利益合計	69	1
特別損失		
固定資産除却損	0	0
特別損失合計	0	0
税金等調整前四半期純利益	1,536	1,839
法人税、住民税及び事業税	367	452
法人税等調整額	59	82
法人税等合計	427	535
四半期純利益	1,109	1,303
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	29	△21
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,079	1,325

(四半期連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年1月1日 至 2026年3月31日)
四半期純利益	1,109	1,303
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	31	231
為替換算調整勘定	△956	198
退職給付に係る調整額	△2	△3
その他の包括利益合計	△927	426
四半期包括利益	181	1,730
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	267	1,669
非支配株主に係る四半期包括利益	△85	61

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年1月1日 至 2026年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,536	1,839
減価償却費	322	311
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△6	2
賞与引当金の増減額(△は減少)	78	77
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	9	△31
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△7	△11
受取利息及び受取配当金	△74	△87
為替差損益(△は益)	92	△152
固定資産売却損益(△は益)	△4	△1
固定資産除却損	0	0
売上債権の増減額(△は増加)	312	1,282
棚卸資産の増減額(△は増加)	175	63
仕入債務の増減額(△は減少)	△556	△599
その他	△404	74
小計	1,471	2,766
利息及び配当金の受取額	72	31
法人税等の支払額	△839	△1,600
営業活動によるキャッシュ・フロー	705	1,198
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△2,763	△2,547
定期預金の払戻による収入	3,048	1,265
有形固定資産の取得による支出	△718	△198
有形固定資産の売却による収入	4	1
無形固定資産の取得による支出	△0	-
投資活動によるキャッシュ・フロー	△428	△1,480
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の取得による支出	△1,050	△1,775
自己株式取得のための預け金の増減額(△は増加)	△449	-
配当金の支払額	△2,733	△3,467
非支配株主への配当金の支払額	-	△3
財務活動によるキャッシュ・フロー	△4,233	△5,246
現金及び現金同等物に係る換算差額	△692	104
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△4,649	△5,423
現金及び現金同等物の期首残高	24,806	20,099
現金及び現金同等物の四半期末残高	20,156	14,675

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2025年11月7日、2026年2月6日開催の取締役会決議に基づき、自己株式488,300株の取得を行いました。この結果、当第1四半期連結累計期間において、自己株式が1,775百万円増加し、当第1四半期連結会計期間末において自己株式が17,388百万円となっております。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自2025年1月1日至2025年3月31日)

当社グループは、電子部品並びにその関連製品の研究開発及び製造販売を主たる目的とした単一事業であるため、セグメントの記載を省略しております。

当第1四半期連結累計期間(自2026年1月1日至2026年3月31日)

当社グループは、電子部品並びにその関連製品の研究開発及び製造販売を主たる目的とした単一事業であるため、セグメントの記載を省略しております。

(収益認識に関する注記)

当社グループは、電子部品並びにその関連製品の研究開発及び製造販売を主たる目的とした単一事業であり、収益を分解した情報は次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自2025年1月1日 至2025年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自2026年1月1日 至2026年3月31日)
主たる地域市場		
日本	3,833 百万円	3,744 百万円
欧州	353	554
中国	721	588
その他アジア	1,663	1,594
北南米	67	82
顧客との契約から生じる収益	6,639	6,566
外部顧客への売上高	6,639	6,566

(重要な後発事象)

(自己株式の取得)

当社は、2026年5月8日開催の取締役会において、会社法第165条第3項の規定により読み替えて適用される同法第156条の規定に基づき、自己株式の取得にかかる事項を決議いたしました。

1. 自己株式の取得を行う理由

株主との対話や直近の株価水準、財務状況等を勘案し、ROEなどの資本効率の向上及び経営環境の変化に対応した機動的な資本政策の遂行並びに株主の皆様への利益還元の実現を目的として自己株式の取得を行うものであります。

2. 自己株式の取得に係る事項の内容

- (1) 取得対象株式の種類 当社普通株式
- (2) 取得する株式の総数 700,000株(上限)
(発行済株式総数(自己株式を除く)に対する割合3.38%)
- (3) 株式の取得価額の総額 20億円(上限)
- (4) 取得期間 2026年5月11日から2026年7月31日まで
- (5) 取得方法 東京証券取引所における市場買付